

建築・都市整備・道路委員会
平成23年7月27日
道 路 局

道路・河川等の整備状況について

平成23年7月27日
道 路 局

■目 次

1	道路・河川等の整備の基本的な考え方	1
2	道路の整備状況について	2
(1)	横浜環状道路等の整備	2
ア	横浜環状南線・横浜湘南道路	3
イ	横浜環状北線	4
ウ	横浜環状北西線	5
(2)	幹線道路等の整備	6
(3)	橋りょうの整備	9
ア	橋りょうの架替え	9
イ	橋りょうの地震対策	10
(4)	その他	11
ア	鉄道と道路の立体交差化	11
イ	金沢シーサイドラインの延伸	11
ウ	自転車駐車場の整備	11
3	河川等の整備状況について	12
(1)	計画28河川の改修	12
(2)	河川遊水地等の整備	14
(3)	主な河川整備の進捗状況	14
ア	二級河川今井川	14
イ	二級河川舞岡川	14

1 道路・河川等の整備の基本的な考え方

道路や河川は、豊かで良好な市街地の形成を図り、安全で安心な市民生活と快適で機能的な都市活動を支える最も重要な都市基盤施設です。少子高齢社会が進展する中、市民の皆様の安全と安心を守り、活力ある経済活動を推進するとともに、地球規模での環境問題に対処し、美しく潤いのある都市環境を創出するためには、道路・河川の整備を推進することが重要です。

また、道路・河川の整備を推進するにあたっては、非常に厳しい予算状況にあるため、整備効果が高く、早期に効果が現れる事業などを中心に、選択と集中を図ることが必要です。

道路整備については、本市の都市計画道路の整備率は大都市の中でも最低水準にあり、また、道路ネットワークの形成も十分に図られておりません。そのため、市内各所で渋滞が発生し、市民生活や経済活動、環境負荷に大きく影響を与えております。

特に、東名高速道路と、都心や臨海部を接続する自動車専用道路は、保土ヶ谷バイパスのみとなっていることから、1日あたり約17万台もの交通が集中しております。

そのため、保土ヶ谷バイパスが寸断されると、日常の市民生活や経済活動に大きく影響を与え、また、災害時の場合には、避難、復旧、復興などの大きな支障となることが想定されます。

そこで、横浜の国際競争力を強化し、市民生活の利便性の向上や経済の活性化を図るとともに、災害対応力の強化を図るため、横浜環状南線、北線などの高速道路、3環状10放射道路を中心とした幹線道路、地区幹線道路など、体系的な道路ネットワークの整備を推進します。

あわせて、道路を安心して利用していただくため、橋りょうの架け替えなど、道路施設の適切な維持管理や、地域交通サポート事業などの地域交通対策、歩行者の快適な移動と安全を確保するための交通安全対策や放置自転車対策を推進します。

河川整備については、市民の安全・安心の確保に向けた治水対策の充実に向け、事業を進めています。

河川整備を進めるにあたっては、昨今増加傾向にある局地的な大雨の発生により、河川や水路の水位が急激に上昇し、市街地の浸水被害のリスクが高まっていることから、従来のハード整備に加え、市民の防災意識の向上や自主的な行動への支援にも取り組んでおります。

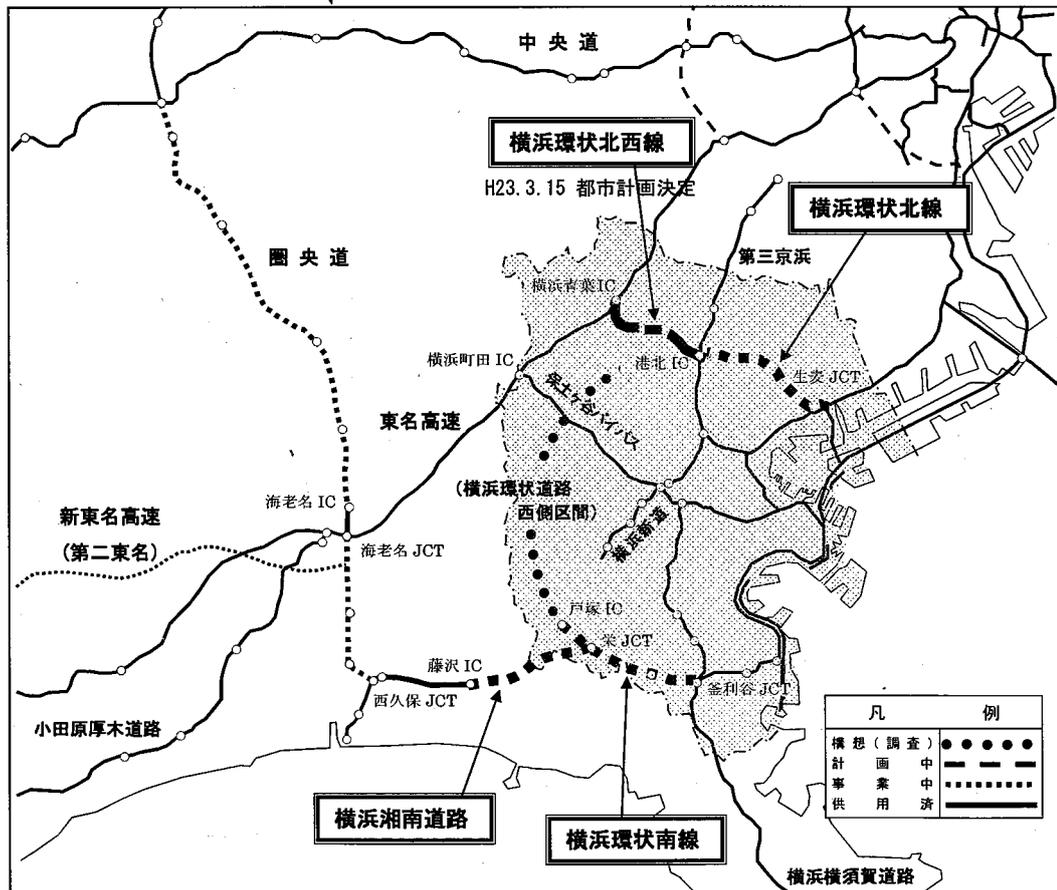
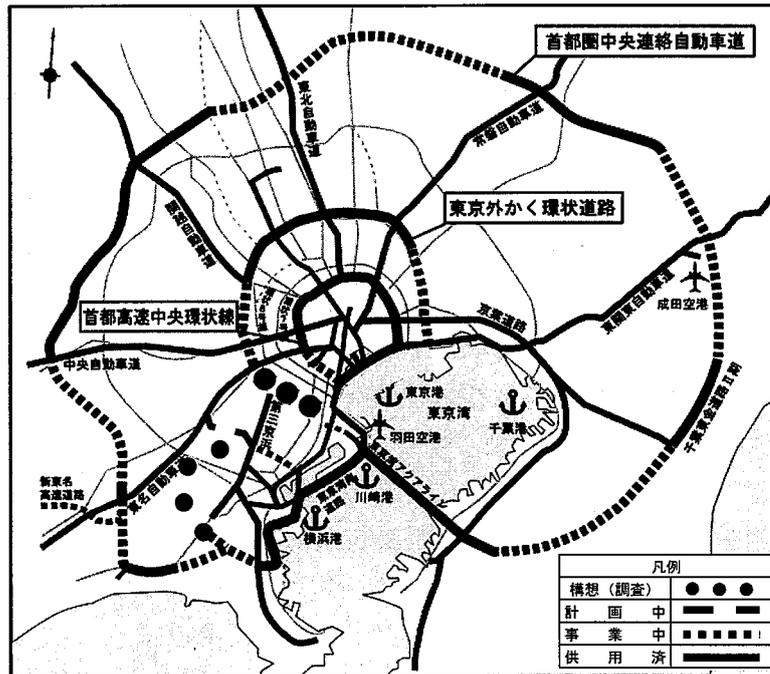
今後も、台風や局地的な大雨から、市民の生命・財産や都市機能を守るため、時間降雨量約50mmの雨に対応できるように、護岸の改修や河川遊水地、河川への雨水流出を抑制する雨水貯留施設などの整備を推進します。

また、浸水被害の軽減を図るため、浸水や避難に関する情報を提供するなどのソフト対策をあわせて進め、ハード・ソフトを含めた総合的な浸水対策を進めます。

2 道路の整備状況について

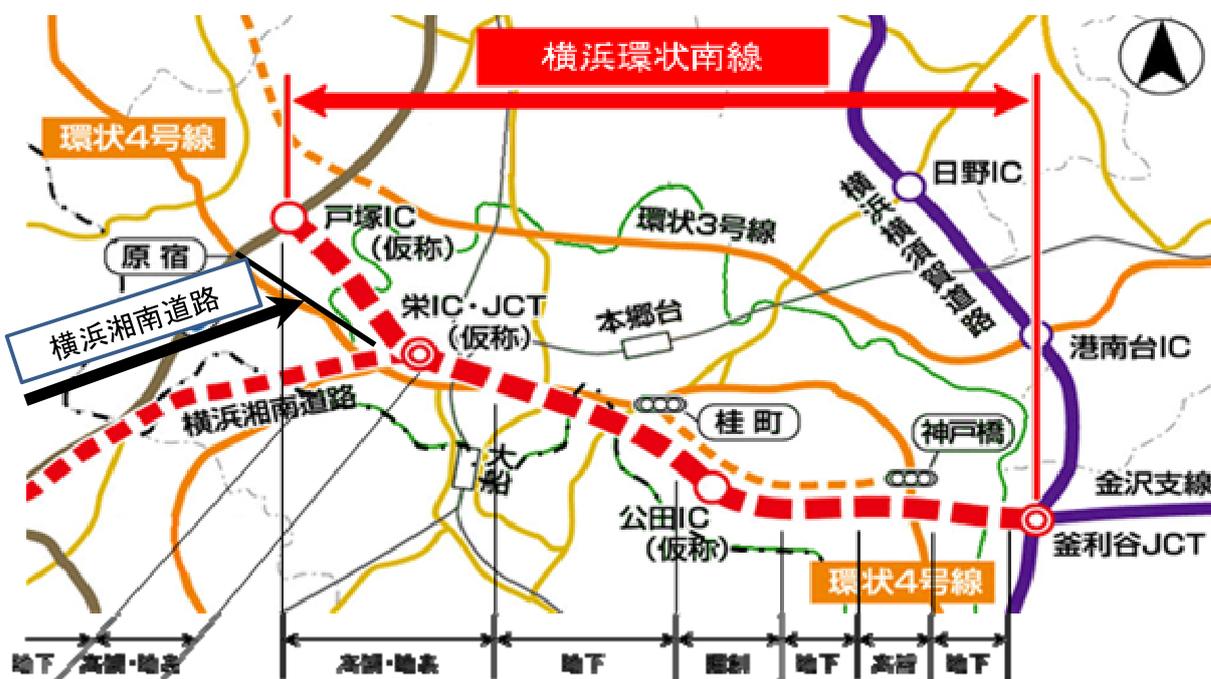
(1) 横浜環状道路等の整備

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の国際競争力強化、渋滞緩和による環境負荷の低減のほか、災害時における代替ルートの確保など、横浜市はもとより首都圏の道路網の骨格を形成する横浜環状道路（南線・北線・北西線）を中心とした高速道路網の整備を進めています。



ア 横浜環状南線・横浜湘南道路(一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道))

事業名	事業概要
横浜環状南線	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・区間：金沢区釜利谷町(横浜横須賀道路 釜利谷 JCT)～戸塚区汲沢町(国道1号) ・延長：約8.9km(うち横浜市域8.4km) ・完成予定：平成27年度(現在検討中) ・事業者：国土交通省、東日本高速道路(株) ●用地取得率：約71%(平成23年3月末現在) ●平成22年度までに用地取得及び調査・設計等を実施 ●平成23年度は用地取得等を実施するほか公田地区の切土工事に着手
横浜湘南道路	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・区間：栄区田谷町(横浜環状南線 栄 IC・JCT)～藤沢市城南一丁目(新湘南バypass) ・延長：約7.5km(うち横浜市域1.9km) ・完成予定：平成27年度(現在検討中) ・事業者：国土交通省 ●用地取得率：約49%(平成23年3月末現在) ●平成23年度は用地取得等を実施



※区間毎の構造形式は概略を示しているため実際とは異なる場合があります。

(ア) 関連街路

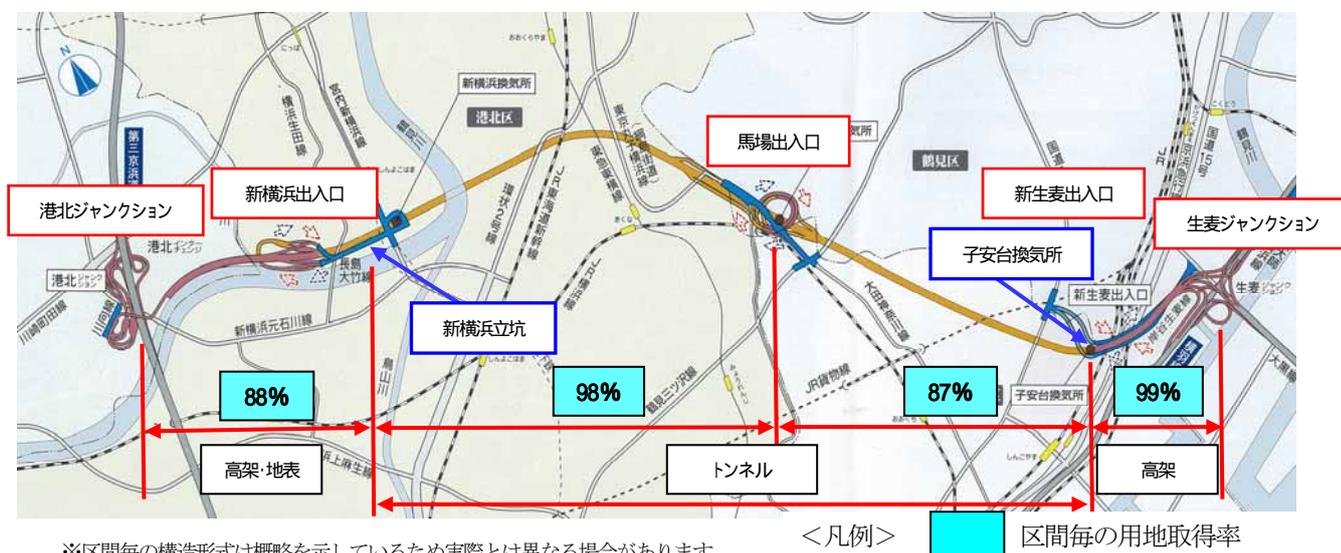
関連街路のうち、南線本線と一体的に整備を進める必要がある区間については、本市と事業者との間で締結した協定に基づき、本市が整備(用地取得、設計、工事)費用を負担し、事業者が整備を実施。

- ・上郷公田線、横浜藤沢線、田谷線

イ 横浜環状北線

事業名	事業概要
横浜環状北線	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・区 間：都筑区川向町(第三京浜道路 港北 JCT)～鶴見区生麦一丁目(横浜羽田空港線 生麦 JCT) ・延 長：約 8.2km ・完成予定：平成 28 年度 ・事 業 者：首都高速道路(株) ●用地取得率：約 93%(平成 23 年 6 月末現在) ●平成 22 年度より新横浜立坑からシールドマシンによる掘削工事中 ●平成 23 年度は用地取得を実施するほか、都筑区川向町及び鶴見区生麦の高架橋工事に着手

(ア) 北線の用地取得状況(用地取得率：約 93%(平成 23 年 6 月末現在))



(イ) 北線の工事進捗状況

- ・平成 19 年に港北区新羽町及び神奈川県川崎市子安台公園において立坑工事に着手。
- ・平成 22 年 10 月、新横浜立坑から 2 基のシールドマシンにて掘削開始。平成 23 年 6 月末現在、約 1 km 掘削完了。
- ・都筑区川向町、鶴見区生麦など高架区間においても今年度から工事着手。



新横浜立坑内におけるトンネル掘削状況
(左が生麦方面行きトンネル、右が港北方面行きトンネル)

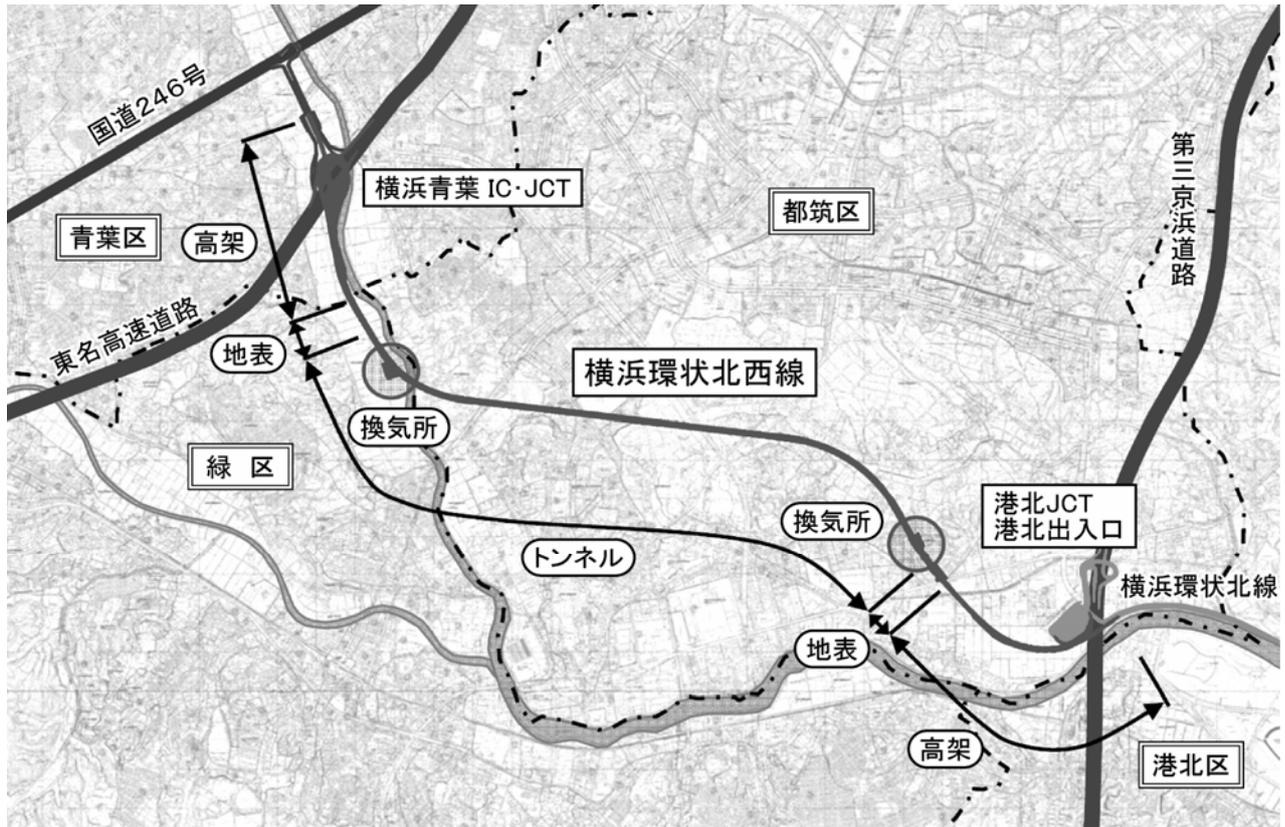
(ウ) 関連街路

関連街路は、北線本線と一体的に整備を進めるため、本市と首都高速道路(株)との間で締結した協定に基づき、本市が整備(用地取得、設計、工事)費用を負担し、首都高速道路(株)が整備を実施。

- ・川向線、長島大竹線、馬場出入口、大田神奈川線、岸谷生麦線

ウ 横浜環状北西線

事業名	事業概要
横浜環状北西線	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・区 間：青葉区下谷本町(東名高速道路 横浜青葉 IC・JCT) ～都筑区川向町(第三京浜道路 港北 JCT) ・延 長：約 7.1km ●平成 22 年度に都市計画決定告示、及び環境影響評価書公告 ●平成 23 年度は事業化のために必要な調査・調整等を実施

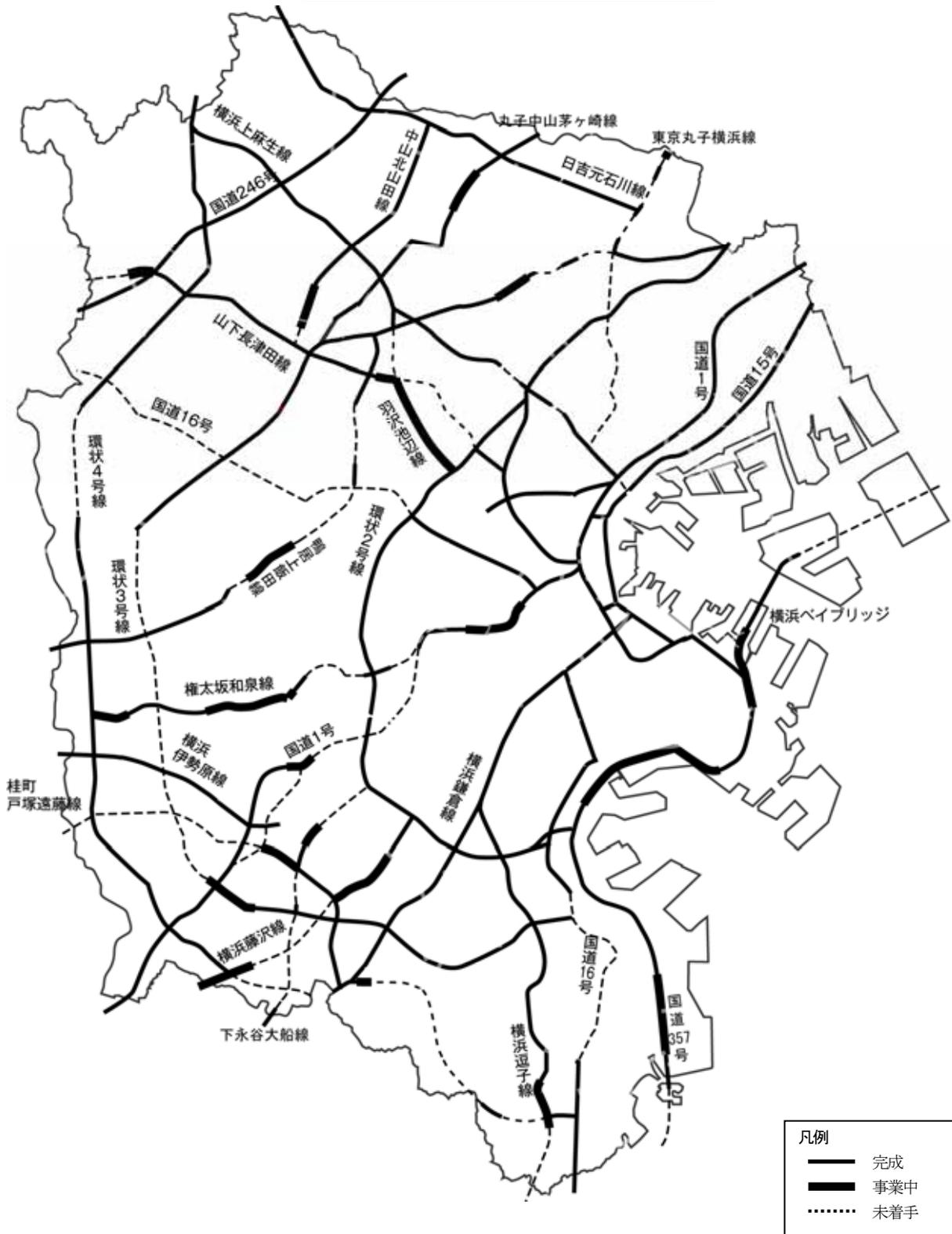


※区間毎の構造形式は概略を示しているため実際とは異なる場合があります。

(2) 幹線道路等の整備

都市の骨格となる放射環状型の体系的な幹線道路ネットワークを形成するため、環状3号線、山下長津田線などの3環状10放射道路のほか、東京丸子横浜線、丸子中山茅ヶ崎線、国道357号などの幹線道路の整備を重点的に進めています。

3環状10放射道路等位置図



●3環状10放射道路等の整備

路線名 (計画延長)	整備延長 (整備率)	事業概要
●環状2号線 (約24.5km)	約24.5km (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年3月に本線部(24.5km)が全線完成 平成17年3月に屏風ヶ浦バイパス(森支線)約1.2km及び東川島外回りランプ約0.2kmが完成し、全線整備完了。
●環状3号線 (約28.2km)	約17.4km (約62%)	<ul style="list-style-type: none"> 柏尾川大橋(栄区長沼町)から国道1号(戸塚区戸塚町)までの約2.0kmを事業中【戸塚地区・南戸塚地区・汲沢地区】。 このうち、柏尾川大橋から日之出橋交差点までの約0.8kmが整備済み。
●環状4号線 (約36.6km)	約29.6km (約81%)	<ul style="list-style-type: none"> 栄区中野町から鎌倉市境までの約1.2kmを事業中【公田・桂町地区】。 このうち、公田交差点から鎌倉市境までの約0.9kmが整備済み。
●日吉元石川線 (約13.0km)	約11.8km (約91%)	<ul style="list-style-type: none"> 青葉区美しが丘一丁目(川崎市境)から東京丸子横浜線(港北区綱島東四丁目)までの約11.8kmが整備済み。
●横浜上麻生線 (約16.1km)	約15.2km (約94%)	<ul style="list-style-type: none"> 国道1号(神奈川区東神奈川一丁目)から青葉区鉄町(川崎市境)までの約15.2kmが整備済み。
●羽沢池辺線 (約5.1km)	約0.4km (約9%)	<ul style="list-style-type: none"> 環状2号線(神奈川区羽沢町)から緑区鴨居町までの約3.2kmを事業中【羽沢・菅田地区】。
●山下長津田線 (約19.8km)	約15.3km (約77%)	<ul style="list-style-type: none"> 羽沢池辺線(緑区鴨居四丁目)から白山二丁目までの約1.5kmを事業中【鴨居地区】。 このうち、西側区間(白山工区 約0.8km)が整備済み。 国道246号(緑区長津田六丁目)から霧が丘長津田線付近(緑区長津田五丁目)までの約0.4kmを事業中【長津田地区】。 土地収用手続きを進めている約20mを残し整備済み。 第三京浜道路下り線の保土ヶ谷料金所から山下長津田線への羽沢IC(出口)約0.2kmが平成23年3月に完成【羽沢地区】。
●横浜伊勢原線 (約5.6km)	約5.6km (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 環状4号線和泉坂上交差点から藤沢市境の境川まで約0.6kmが平成23年3月に完成【和泉・上飯田地区】し、戸塚区戸塚町から泉区上飯田町(藤沢市境)に至る全線約5.6kmが整備完了。
●榎太坂和泉線 (約9.6km)	約3.5km (約36%)	<ul style="list-style-type: none"> 戸塚区名瀬町から新橋町西田橋交差点まで約2.2kmを事業中【名瀬・岡津地区】。 県道阿久和鎌倉弥生台交差点から環状4号線(泉区和泉町)までの約1.9kmを事業中【和泉地区】。 このうち、弥生台交差点付近から泉警察署前交差点までの約0.8kmが整備済み。
●桂町戸塚遠藤線 (約10.2km)	約4.0km (約39%)	<ul style="list-style-type: none"> 下永谷大船線(戸塚区上倉田町)から国道1号(八坂神社前交差点)までの約1.0kmを事業中【上倉田戸塚地区】。

路線名 (計画延長)	整備延長 (整備率)	事業概要
●横浜藤沢線 (約 7.3km)	約 1.2km (約 16%)	・舞岡上郷線(港南区丸山台四丁目)から戸塚区舞岡町までの約 1.9km を 事業中【上永谷地区・上永谷舞岡地区】 。 ・栄区長尾台町から戸塚区小雀町(鎌倉市境)までの約 1.4km を 事業中【田谷・小雀地区】 。
●横浜鎌倉線 (約 12.6km)	約 12.6km (100%)	・平成 18 年 10 月に中区本町から栄区桂町までの約 12.6km が 全線整備完了 。
●横浜逗子線 (約 11.3km)	約 8.4km (約 74%)	・金沢区釜利谷南一丁目から環状 4 号線(金沢区六浦四丁目)までの約 1.4km を 事業中【釜利谷六浦地区】 。
○東京丸子横浜線 (約 8.8km)	約 1.4km (約 16%)	・川崎市境付近仲の谷交差点(港北区日吉三丁目)から日吉駅前までの約 0.6km を 事業中【日吉地区】 (平成 24 年度完了期間宣言路線)
○下永谷大船線 (約 7.5km)	約 0.8km (約 10%)	・戸塚区舞岡町から桂町戸塚遠藤線(戸塚区上倉田町)までの約 1.2km を 事業中【上倉田・舞岡地区】 (平成 25 年度完了期間宣言路線)
○丸子中山茅ヶ崎線 (約 4.2km)	約 3.4km (約 82%)	・日吉元石川線の百石橋西側交差点(都筑区東山田町)から茅ヶ崎中学入口交差点(都筑区茅ヶ崎東 1 丁目)までの約 1.9km を 事業中【南山田大榎勝田地区】 。 このうち、大榎バス停付近より北側区間の約 1.2km が 整備済み 。
○中山北山田線 (約 7.1km)	約 5.0km (約 70%)	・県道川崎町田の青砥交差点(緑区青砥町)から富士見が丘西側交差点(都筑区川和町)までの約 2.0km を 事業中【青砥北八朔川和地区】 。
○鴨居上飯田線 (約 13.1km)	約 7.1km (約 54%)	・旭区本宿町からさちが丘のまでの約 1.6km を 事業中【本宿・二俣川地区・さちが丘地区】 。
○国道 357 号 (国直轄事業) (約 25.0km)	約 14.6km (約 58%)	・中区本牧間門から磯子区新磯子町までの約 3.0km を 事業中【根岸地区】 。 ・中区本牧ふ頭から中区錦町までの約 2.3km を 事業中【本牧地区】 。 ・金沢区幸浦二丁目から福浦二丁目までの約 1.7km を 事業中【福浦地区】 。

●：3環状10放射道路

○：その他の幹線道路(完了期間宣言路線、国道等)

注1：整備率は整備済延長を計画延長で除したもの(平成 23 年 3 月 31 日現在)

注2：アンダーラインが付いている箇所は平成 22 年度完成

(3) 橋りょうの整備

橋りょうの維持・補修及び長寿命化の推進等を行っているほか、橋りょうの架替えを行っています。また、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震に強い都市づくりを進めるため、橋りょうの地震対策を引き続き行っています。

ア 橋りょうの架替え

橋りょう名	事業概要
花見橋（南区弘明寺町～大岡二丁目） 橋下：大岡川	・規模：橋長 19.9m、幅員 7m ・完成予定：平成 23 年度
谷本人道橋（青葉区下谷本町～市ヶ尾町） 橋下：谷本川	・規模：橋長 46m、幅員 4.8m ・完成予定：平成 23 年度
都橋（緑区青砥町～中山町） 橋下：恩田川	・規模：橋長 45m、幅員 21m ・完成予定：平成 23 年度
江ヶ崎こ線橋（鶴見区江ヶ崎町） 橋下：JR 貨物	・規模：橋長 77.8m、幅員 13m ・完成予定：平成 24 年度
新開橋（中区新山下一丁目） 橋下：新山下運河	・規模：橋長 26m、幅員 13.5m ・完成予定：平成 24 年度
霞橋（中区新山下一丁目） 橋下：新山下運河	・規模：橋長 33m、幅員 6m ・完成予定：平成 24 年度
井土ヶ谷橋（南区井土ヶ谷下町～花之木町） 橋下：大岡川	・規模：橋長 24.6m、幅員 16.8m ・完成予定：平成 25 年度

花見橋



施工前



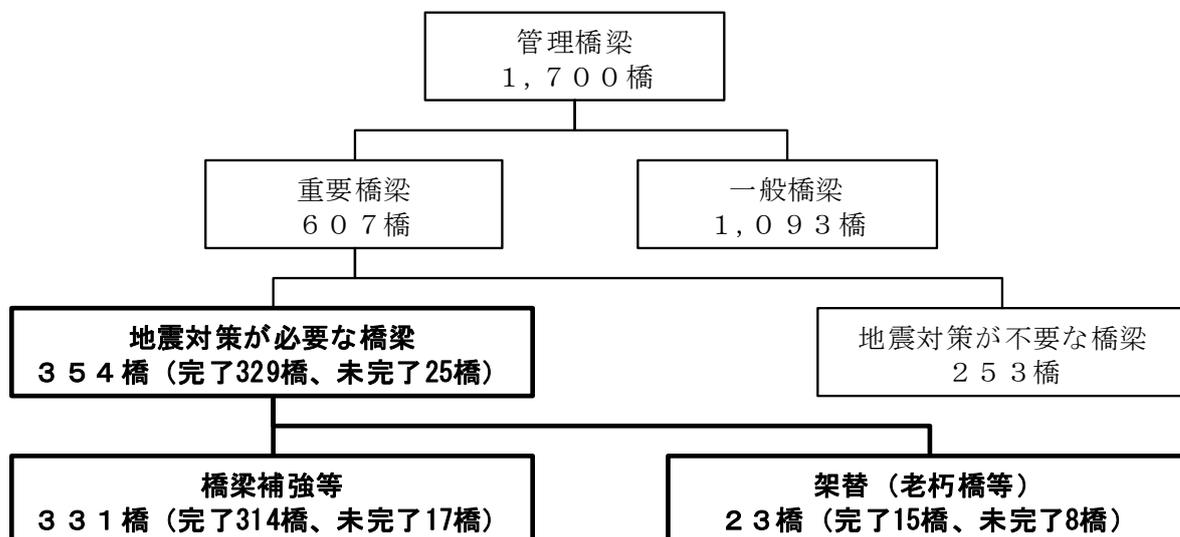
橋桁の架設状況



完成イメージ

イ 橋りょうの地震対策

緊急輸送路にある橋や、高速道路・鉄道を跨ぐ橋などの重要橋りょうのうち、地震対策が必要な354橋について、橋脚補強や落橋防止装置の設置などの対策を実施しています。平成22年度までに329橋（93%）の対策が完了しており、引き続き、残る25橋の地震対策を進めています。



現在、3橋の地震対策工事を実施中であり、平成23年度内に完了する予定です。

橋りょう名	事業概要
鶴蒔橋（青葉区市ケ尾町） 橋下：東名高速道路	・対策方法：橋脚補強（炭素繊維巻立て） ・完成予定：平成23年度
谷津坂第1高架橋（金沢区堀口町） 橋下：－	・対策方法：橋脚補強（コンクリート巻立て） ・完成予定：平成23年度
鍛冶ヶ久保橋（戸塚区川上町～上品濃） 橋下：横浜新道	・対策方法：落橋防止装置設置 ・完成予定：平成23年度

(4) その他

交通のボトルネックとなっている踏切の立体交差化や、新交通システムである金沢シーサイドラインの延伸計画等を推進し、交通の円滑化や安全性の向上を図っています。

ア 鉄道と道路の立体交差化

事業名	事業概要
相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業	<ul style="list-style-type: none">●概要<ul style="list-style-type: none">・整備延長：約 1.9km (踏切除却：9箇所)・構造：鉄道高架方式・完成予定：平成 24 年度●平成 22 年 9 月に全線の仮線への切り替えが完了し、本格的な高架橋工事を開始●平成 23 年度は引き続き高架橋工事を推進

イ 金沢シーサイドラインの延伸

事業名	事業概要
金沢シーサイドラインの京浜急行金沢八景駅への延伸	<ul style="list-style-type: none">●概要<ul style="list-style-type: none">・整備延長：約 150m (金沢八景暫定駅から京急金沢八景駅付近)・整備内容：シーサイドライン橋脚、桁、駅舎、駅前広場へのアクセス施設など●金沢八景駅東口地区土地区画整理事業の換地処分に合わせて延伸する計画で、平成 22 年 9 月に都市計画変更●平成 23 年度は軌道・駅舎等の詳細設計を実施

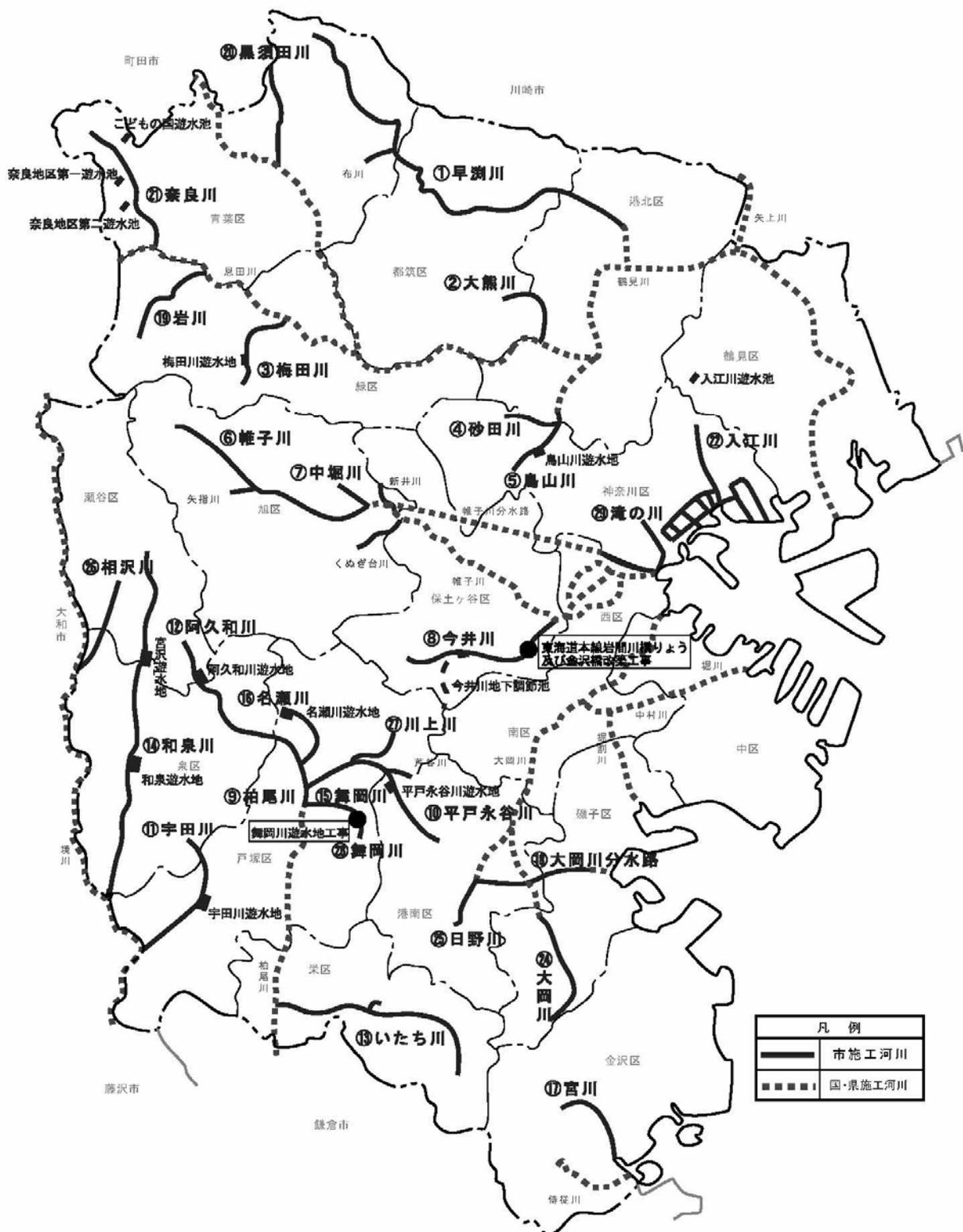
ウ 自転車駐車場の整備

事業名	事業概要
鶴見駅西口第二自転車駐車場(仮称)	<ul style="list-style-type: none">●概要<ul style="list-style-type: none">・工事場所：鶴見区豊岡町 215 番地 (鶴見駅西口バスターミナル上)・収容台数：約 1,000 台、自転車・定期専用・構造：橋梁形式・施設規模：長さ 約 50m、幅 約 20m、面積 約 1,000 m²・出入り口：入口 2 か所 (自転車用ベルトコンベア付き斜路付き階段) 出口 2 か所 (斜路付き階段)・完成予定：平成 24 年度●平成 22 年度までに基礎工事が完了●平成 23 年度は、デッキ設置工事、駐車場設備工事等を実施

3 河川等の整備状況について

本市では、「市民生活の安心・充実」の一環として、河川改修と流域での雨水貯留対策などを合わせた総合的な治水対策を進め、時間降雨量約 50 mm の雨に対応できるよう、河川等の整備を進めています。

計画 28 河川位置図



(1) 計画28河川の改修

抜本的な治水対策を必要とする中小河川を「計画28河川」として選定し、都市基盤河川改修事業、準用河川改修事業等の実施により浸水被害の軽減に努めています。

●計画28河川の改修状況（計画延長：85.6km、護岸整備率：86.0%（平成22年度末））

○都市基盤河川（18河川、計画延長：68.4km、護岸整備率：90.8%、完了9河川）

河川等級	河川名	護岸整備率 (平成22年度末)	備考
一級河川	(5河川、計画延長：16.4km)		
鶴見川水系	①早渕川、②大熊川、③梅田川、④砂田川、⑤鳥山川	100.0%	完了
二級河川	(13河川、計画延長：52.0km)		
帷子川水系	⑥帷子川	66.3%	
	⑦中堀川	78.6%	
	⑧今井川	63.5%	
境川水系	⑨柏尾川、⑩平戸永谷川、⑪宇田川	100.0%	完了
	⑫阿久和川	84.3%	
	⑬いたち川	88.0%	
	⑭和泉川	95.3%	
	⑮舞岡川	98.2%	
	⑯名瀬川	97.5%	
宮川水系	⑰宮川	96.3%	
大岡川水系	⑱大岡川分水路	100.0%	完了
計		90.8%	

○準用河川（10河川、計画延長：17.1km、護岸整備率：66.8%、完了5河川）

河川等級	河川名	護岸整備率 (平成22年度末)	備考
準用河川	(10河川、計画延長：17.1km)		
鶴見川水系	⑲岩川、⑳黒須田川	100.0%	完了
	㉑奈良川	96.3%	
入江川水系	㉒入江川	100.0%	完了
滝の川水系	㉓滝の川	100.0%	完了
大岡川水系	㉔大岡川	5.6%	
	㉕日野川	23.7%	
境川水系	㉖相沢川	100.0%	完了
	㉗川上川	2.3%	
	㉘舞岡川	0.0%	
計		66.8%	

※ゴシック太文字の河川名は平成23年度に事業を実施する河川

(2) 河川遊水地等の整備

洪水を一時的に貯留し下流河川への洪水流量を低減するため、河道と一体となった河川遊水地や河川への流出量を調整する上流域での雨水貯留施設の整備を進めています。

《平成 22 年度末の整備状況》(14 か所完成、1 か所施工中)

【河川遊水地】10 か所

名瀬川遊水地Ⅰ期、梅田川遊水地、和泉川和泉遊水地、鳥山川遊水地、和泉川宮沢遊水地、名瀬川遊水地Ⅱ期、平戸永谷川遊水地、宇田川遊水地、阿久和川遊水地(仮供用)、**舞岡川遊水地(施工中)**

【地下調節池】1 か所

今井川地下調節池

【雨水貯留施設】4 か所

こどもの国遊水池、奈良地区第一遊水池、奈良地区第二遊水池、入江川遊水池

(3) 主な河川整備の進捗状況

ア 二級河川今井川

事業名	事業概要
東海道本線岩間川橋りょう及び金沢橋改築工事	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間：保土ヶ谷区岩井町 44-3～帷子町 2-46 ・事業内容：ボックスカルバート築造 (内寸 幅：9m、高さ：6m、延長：58m) ・完成予定：平成 26 年度 ●流域の浸水対策を図るため、二級河川今井川のネック箇所となっている東海道本線及び横須賀線横断部分を、ボックスカルバートによる河川拡幅を実施する事業 ●平成 23 年度は、JR 既設橋及び金沢橋撤去、ボックスカルバート本体の一部を施工

イ 二級河川舞岡川

事業名	事業概要
舞岡川遊水地建設工事	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間：戸塚区舞岡町 567 番地の 1 ・事業内容：ポンプ排水型地下式貯水施設、機械室棟築造 (容量約 55,000m³、外寸約 50m×約 100m、深さ約 16m) ・完成予定：平成 25 年度 ●流域における治水安全度の向上を図るため、二級河川舞岡川の河川改修とともに遊水地を設置する事業 ●平成 23 年度は、地下貯水施設躯体築造工事(完了予定)、上部機械室棟(着手予定)